

令和3年度第4回 うべ未来モニターアンケート集計結果

1 アンケートのテーマ

『宇部市のアートのまちづくりについて』

- (1) 実施期間 令和3年8月9日（月）～8月22日（日）まで
(2) 担当部署 UBEビエンナーレ推進課、文化・スポーツ振興課

2 モニター数・アンケート回答者数

- (1) メール・郵送文書到達モニター数 734 人
(2) 回答者数（回答率） 308 人（42.0 %）

3 回答者の属性

※ 端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

【年代】

項目	回答者数	比率	グラフ
10歳代	2 人	0.6 %	
20歳代	5 人	1.6 %	
30歳代	27 人	8.8 %	
40歳代	47 人	15.3 %	
50歳代	60 人	19.5 %	
60歳代	74 人	24.0 %	
70歳代	87 人	28.2 %	
80歳代	6 人	1.9 %	

308 人



ご協力、ありがとうございました。

【居住校区】

項目	回答者数	比率	グラフ
東岐波	14 人	4.5 %	
西岐波	19 人	6.2 %	
恩田	26 人	8.4 %	
岬	12 人	3.9 %	
見初	9 人	2.9 %	
上宇部	30 人	9.7 %	
神原	12 人	3.9 %	
琴芝	18 人	5.8 %	
新川	14 人	4.5 %	
鵜の島	9 人	2.9 %	
藤山	16 人	5.2 %	
原	8 人	2.6 %	
厚東	6 人	1.9 %	
二俣瀬	6 人	1.9 %	
小野	4 人	1.3 %	
小羽山	11 人	3.6 %	
常盤	19 人	6.2 %	
川上	13 人	4.2 %	
厚南	10 人	3.2 %	
西宇部	19 人	6.2 %	
黒石	10 人	3.2 %	
船木	6 人	1.9 %	
万倉	7 人	2.3 %	
吉部	6 人	1.9 %	
在学・在勤	4 人	1.3 %	

N=308

【性別】

項目	回答者数	比率	グラフ
女性	131 人	42.5 %	
男性	177 人	57.5 %	

N=308

4 回答集計

- ※ 比率は、各設問の回答対象数（N）に対する割合を示しています。
- ※ 単数回答であっても、端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

『宇部市のアートのまちづくりについて』

担当部署 UBEビエンナーレ推進課、文化・スポーツ振興課

アンケートの趣旨

本市は、戦後のまちの美化と心の豊かさを求める中で、市民から「まちを彫刻で飾る運動」が起こり、これをきっかけに、1961年に野外彫刻展が開催され、今では世界で最も歴史ある野外彫刻の国際コンクール「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」に発展しています。

本市では、この展覧会での受賞作品を市内に設置するなど「アートによるまちづくり」が先駆的事业として進められてきました。

このたび、この事業について、市民の皆様のご意見をお聞かせいただくため、以下のアンケートを実施します。

Q1 本市のキャッチフレーズが、「緑と花と彫刻のまち」になった歴史や理由を知っていますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 知っている	84 人	27.3 %	
2 少し知っている	113 人	36.7 %	
3 どちらとも言えない	12 人	3.9 %	
4 あまり知らない	58 人	18.8 %	
5 知らない	41 人	13.3 %	

N=308

Q2 UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）について知っていますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 知っている	176 人	57.1 %	
2 少し知っている	103 人	33.4 %	
3 どちらとも言えない	6 人	1.9 %	
4 あまり知らない	20 人	6.5 %	
5 知らない	3 人	1.0 %	

N=308

Q3 UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）は、本市の「アートのまちづくり」において、果たす役割は大きいと思いますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 思う	124 人	40.3 %	
2 少し思う	102 人	33.1 %	
3 どちらとも言えない	47 人	15.3 %	
4 あまり思わない	24 人	7.8 %	
5 思わない	11 人	3.6 %	

N=308

Q4 「アートのみちづくり」を今後も発展させるためには、彫刻以外のアートにも力を入れたほうが良いと思いますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 思う	101 人	32.8 %	
2 少し思う	92 人	29.9 %	
3 どちらとも言えない	65 人	21.1 %	
4 あまり思わない	35 人	11.4 %	
5 思わない	15 人	4.9 %	

N=308

Q4-ア Q4で「思う」「少し思う」とお答えの方にお聞きします。

彫刻以外で取り入れたほうが良いと思うアートとはどのようなものですか。*複数回答可

項目	回答者数	比率	グラフ
1 文学（詩・俳句・小説等）	35 人	6.2 %	
2 音楽（クラシック・ポピュラー等）	88 人	15.6 %	
3 美術（絵画・工芸・陶芸等）	105 人	18.6 %	
4 写真	52 人	9.2 %	
5 演劇（現代劇・ミュージカル等）	36 人	6.4 %	
6 舞踊（日舞・バレエ・ダンス等）	12 人	2.1 %	
7 茶華道・書道・盆栽等	18 人	3.2 %	
8 伝統芸能（歌舞伎・文楽等）	35 人	6.2 %	
9 映画・映像	59 人	10.5 %	
10 アニメ・漫画	70 人	12.4 %	
11 メディア・アート	42 人	7.4 %	
12 その他（ ）	12 人	2.1 %	

その他

- ・宇部出身の山田洋次さん、庵野秀明さんという偉大な方々がいらっしゃるのに、もっとアピールしてもよいのでは？
- ・市民が自ら作り、育て、繋げる花（花壇）
- ・彫刻との組み合わせや彫刻の概念を超越した展示物で、屋外かつ市民とのふれあいを促進する新たなアート
- ・芸術よりも、もっと生活に密着した福祉等に力をいれてください、税金の無駄
- ・歴史映像（昔の宇部のフィルム映像などの記録）、宇部のこれまでの歴史背景もアートととらえるべき
- ・エヴァンゲリオンを活用、原寸大のエヴァンゲリオンの設置
- ・オリンピックを見ていると、これからの子ども達にのびのびとしたスポーツ広場を作ってほしい(例スケボー等)
- ・核になる人や伝統技術などを取り入れる
- ・子どもの遊び場

N=564

【UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）の開催形式について】

Q5 「ビエンナーレ」とは2年に1回開催するイベントを意味します。

UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）は現在の2年に1回の開催で良いと思いますか。

項目	回答数	比率	グラフ
1 思う	185 人	60.1 %	
2 少し思う	34 人	11.0 %	
3 どちらとも言えない	51 人	16.6 %	
4 あまり思わない	19 人	6.2 %	
5 思わない	19 人	6.2 %	

N=308

Q5 - ア Q5で「どちらとも言えない」「あまり思わない」「思わない」とお答えの方にお聞きします。開催年を変更するとすれば、どのようなサイクルが良いと思いますか。

項目	回答数	比率	グラフ
1 3年に1回	23 人	25.8 %	
2 4年に1回	33 人	37.1 %	
3 5年に1回	14 人	15.7 %	
4 () 年に1回	19 人	21.3 %	
() 年に1回			
1年、4年、5年、5年以上の間隔、10年、分からない、開催しなくてよい、応募数やそのレベルによる			

N=89

【UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）の開催場所について】

Q6 UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）は、ときわ公園を会場に開催しています。開催場所について、ときわ公園以外でも開催した方が良いと思いますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 思う	38 人	12.3 %	
2 少し思う	32 人	10.4 %	
3 どちらとも言えない	58 人	18.8 %	
4 あまり思わない	86 人	27.9 %	
5 思わない	94 人	30.5 %	

N=308

Q6-ア Q6で「思う」「少し思う」とお答えの方にお聞きします。

他の場所で開催するとすれば、どこが良いと思いますか。

*複数回答可、具体的な場所があれば（ ）内にお書きください。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 中心市街地（具体的に）	31 人	38.3 %	
2 中山間地域（具体的に）	15 人	18.5 %	
3 市内複数各所での同時開催（具体的に）	29 人	35.8 %	
4 その他（ ）	6 人	7.4 %	
1 中心市街地			
銀天街／まち中アート／宇部空港／宇部新川駅やその周辺／新天町／駅／ショッピングセンターやアーケード内／事業所敷地／参加型アート／アーバンアート／丸喜などのスーパーのあるところ／渡辺翁記念会館／山口宇部道路／ときわ公園／常スマ跡地／ヒストリア宇部／公共の施設またはアーケード／市施設／市民館／緑地や公園／市役所／常盤町／真締川／駐車場が近い場所、街なかにふさわしい彫刻もある／西日本銀行前の「王と王妃」は、あの場所だから映える／老朽化した宇部新川駅周辺の彫刻は、修復もしくは入替をしていくべきかと思います			
2 中山間地域			
楠町／小野湖など宇部市の辺縁で、自然とのコラボレーションが可能なエリア／自然と溶け込めるようなものを対象に。楠こもれびの郷周辺だと、手つかずの自然の中の彫刻だけでなく、温泉・食事が楽しめる／ふれあいセンター／地域公園の隅／2号線沿いの田園風景の中／1つでもいいから展示してほしい／アクトビレッジ小野／くすくすの湯／今後廃校になる予定のない学校／ルネサス山口工場跡地／二俣瀬、地図的には中心だと思う／北部／小野			
3 市内複数各所での同時開催			
ショッピングセンターやアーケード内／事業所敷地／ストリートアート／公園など／小野湖／ショッピングセンターなど／テーマ毎に会場を分ける／ときわ公園 空港隣の公園 新川駅／バス巡りができる場所か、貸し自転車巡りができる場所／宇部市を巡るように／宇部市中央公園テニスコート／宇部中央／山口宇部空港／フジグラン／駅周辺／恩田地区／西部地区／厚南地区／各支所エリア／大型商業施設付近など／学校／作家に市内の気に入った場所を選択してもらい作品を展示する。観客は巡回バスに乗って鑑賞。展示後は展示箇所の自治会が町の財産として守っていく。／市街地／アクトビレッジ／楠こもれびの郷／自然と調和したアートもあると思う。市街地だけでなく中山間地区も含めやるべきだ。お寺や神社、山や、川など、他の地区の振興策にもなる。／商店街や田舎、市民館などでそれぞれの内容やイメージに合う場所／小さな公民館／渡辺翁記念会館（周辺公園を含む）／真締川沿い／場所、時期を集中的に！／人が集まる場所／中心市街地・中山間地・海辺／東西岐波と厚南4地区／東部・西部・北部など／複数各所／2～3日間行うことで市内に滞在してもらい、各地を回り市の魅力を感じてほしい			
4 その他			
コンクリート壁や山壁などの利用、インフラなどとのコラボ、十数年先の完成を見越した気長なデザインなど地域一体型アート／小、中学生の同伴が良いと思う／作品にあった場所／海沿い／既存作品設置場所でも何かやったら良い／空港横の公園			

N=81

【野外彫刻の活用について】

Q 7 現在、市内には約210点の野外彫刻作品を設置しています。「アートのまちづくり」のために、今後も作品設置を継続し、作品を増やしていくべきだと思いますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 思う	108 人	35.1 %	
2 少し思う	65 人	21.1 %	
3 どちらとも言えない	57 人	18.5 %	
4 あまり思わない	48 人	15.6 %	
5 思わない	30 人	9.7 %	

N=308

Q 7 - ア Q 7で「少し思う」「どちらとも言えない」「あまり思わない」「思わない」と答えた方にお聞きします。作品設置について、どのような対応が望ましいと思いますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 数を制限しながら増設する	98 人	49.0 %	
2 これ以上作品を増やさない（現状維持）	62 人	31.0 %	
3 設置作品を減らす	21 人	10.5 %	
4 その他（ ）	19 人	9.5 %	

その他

- ・局所に集中しているので、もっと遠隔や産官学公共に融通することで、ファン（関係者）を増やす施策と連携する。
- ・企業や大学などが協力して受賞彫刻を購入しているが、限度がある。外部に購入希望者（社）を募ってはどうか？
- ・作品を見るのも、集中した方が良いと思う。
- ・感動のないもの、古くなったもの、通行の邪魔になっているものを取り除くにもお金がかかる。無理に増やさなくてもいい。
- ・宇部インター付近や小野等の郊外に設置する。
- ・展示を市内全体に展開すべき。特定の地域だけにすべきではない。管理は自治会に。
- ・時代の流れを反映させる新規作品と交換する。
- ・設置した場所を管理し、作者の説明を表記してあれば、子どもたちも親しめるのでは。
- ・同様の施設内に設置する(人目につく場所)。
- ・新しい作品と入れ替え。
- ・無料で設置できる対応が望ましいです。
- ・作品設置を止める。
- ・これに予算を取り過ぎているイメージ。また、アートの街といって市内のあちこちに設置する現状には、非常に反対。駅から市役所の間にまとめて設置した方が、遥かに観覧しやすく、人も集まる。歩く流れも出来る。
- ・大切な作品を年2回以上清掃・メンテナンスできる適正な設置数へ。現状をよく知らないが、時々清掃のニュースがある。

N=200

Q 8 野外彫刻作品の中には、経年劣化のため、修復が必要な作品があります。これについて、どのような対応が望ましいと思いますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 計画的に修復する	98 人	31.8 %	
2 修復せず撤去していく	55 人	17.9 %	
3 修復せず撤去し、別の作品と展示換えをする	126 人	40.9 %	
4 その他（ ）	29 人	9.4 %	
その他			
・オーナーや出資者を決めて、お任せできるものは任せる。老朽化や必要性について作成者との協議で。撤去も視野に全体維持管理計画を運用する。 ・被害がでるまでそのままにしておく。 ・修復するのにかかる費用しだい。 ・修復の経費が膨大だったり、完全に元通りにできないようなら撤去。新作品と入れ替える。 ・作者の了解を得て撤去する。 ・宇部市の歴史上、核になるような作品は修復しながら残してほしい。 ・全部を修復するのではなく、宇部を象徴するものや人気の高いものなど、残すべきものは残してほしいです。 ・制作者の意向もあると思われるので、一概にこうすべきとは言えないのではと考えます。 ・設置当初はまわりも整備されていたいいなと思っていたが、今は作品の周りに草が生えたり雑然としているところが多く残念。 ・人気のある作品は修復して残す。 ・基本は大切に繋げていくために修復するですが、作者の意図により劣化する事も作品（命）の一部ともなり得ます。作品ごとに検討する必要はあると思っています。 ・修復するものと、撤去するものを区別して計画的に実行してほしい。 ・計画的に修復するのは当然として、修復に耐えない劣化した作品は一日も早く撤去すべき(みっともない)。 ・作者の意向による。 ・良い作品は修復してでも残し、そうでない物は修復せずに入れ替えるという取捨選択をするのが良いと思う。 ・作品の価値を評価し個々に対処する。 ・作品によって撤去か入替を検討すべきではないかと思います。 ・昔から、宇部市のシンボル(馴染みの深いもの)は修理してほしいです。 ・劣化の程度による。修復できるものは行い、できない場合は、記録にとどめておくことも考えられる。 ・対象彫刻を決め、見学者のアンケート結果で修復か撤去を決める。人気の彫刻はできるだけ残す。 ・全部を修復するのもコストがかかり大変だと思うので、修復し残すものと撤去するものに分けていった方が良いと思う。 ・人気投票上位作品やシンボル作品は修復し、その他は展示換えをおこなう。 ・評判の良い彫刻は修復して残す（例えばよくSNSなどにアップされるもの）。 ・作品ごとに市民に意見を求め対応する。 ・一律ではなく、材質や劣化のスピードなどそれぞれの作品によって対応を考える。 ・修復ための費用などの上限を決めて、精査した上で修復・撤去をしてほしい。 ・市民からの知名度や愛着度によって、修復すべき物と撤去する物を選別する。 ・製作者の意向を大切に、修復するのであれば基本は作者が。設置するとき製作者の意向（撤去・修復）を確認しておく。 ・制作者の希望を聞いて、修復設置を希望されれば修復し、撤去でいいと言われれば撤去する。			

N=308

【彫刻教育について】

Q 9 本市の小中学校では、特色ある教育として、地域資源である彫刻を活用した「彫刻教育」に取り組んでいます。このことについて知っていますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 知っている	42 人	13.6 %	
2 少し知っている	51 人	16.6 %	
3 どちらとも言えない	16 人	5.2 %	
4 あまり知らない	81 人	26.3 %	
5 知らない	118 人	38.3 %	

N=308

Q 10 「彫刻教育」では、子どもたちのふるさとへの誇りや愛着心を醸成するとともに、感性や想像力を育てるため、市内の小学4年生を対象とした野外彫刻鑑賞授業や作家との交流によるワークショップなどを行っています。教育効果について、どのように思われますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 効果がある	92 人	29.9 %	
2 少し効果がある	93 人	30.2 %	
3 どちらとも言えない	81 人	26.3 %	
4 あまり効果がない	28 人	9.1 %	
5 効果がない	14 人	4.5 %	

N=308

Q11 「彫刻教育」の今後のあり方について、どうあることが望ましいと思われますか。

***複数回答可** ※アートを紹介して、人と人、人と作品、人と場所をつなぐプレイヤーのこと。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 子どもたちが本物のアートに触れる機会を拡大する	194 人	24.2 %	
2 子どもたちとアーティストとの交流機会を増やす	124 人	15.5 %	
3 子どもだけでなく、大人の生涯学習にも広げる	124 人	15.5 %	
4 アートコミュニケーター(※)等の人材育成を行う	34 人	4.2 %	
5 子どもたちが自ら彫刻を制作する機会を拡大する	115 人	14.3 %	
6 本市の「アートによるまちづくり」の歴史を学習する	57 人	7.1 %	
7 彫刻教育を小学1年から中学3年まで体系的に実施する	35 人	4.4 %	
8 子どもたちが彫刻ガイドを行う機会を創出する	37 人	4.6 %	
9 彫刻カルタやワークシートなどの教材を作成し、彫刻作品について楽しく学習する	41 人	5.1 %	
10 彫刻教育はなくてよい	24 人	3.0 %	
11 その他 ()	17 人	2.1 %	
その他			
・宇部市長主催の市民彫刻展を開催し、赤ちゃんから老人まで自由参加で募集し、最優秀作品はビエンナーレ作品と同等に扱う。 ・彫刻が好きな子どもが、美術の時などに勉強したらよいと思う。 ・彫刻を素材にしつつも、彫刻にとらわれない学び（表現する楽しさ、作品に込めた多様な価値観を理解するなど）として、国語、図工（美術）、社会科などの既存科目の学習ともリンクできるとよいと考えます。 ・人の感覚の問題です。見て楽しむのはいいが、無理矢理教育しても嫌いなものは嫌い。才能のある人は伸びる。 ・アートを通じた物の考え方や表現力を育む教育、モデル校だけではない全小中学校における他の教科とコラボした彫刻教育の充実。 ・触ってはいけない彫刻より、遊べる彫刻が増えるのとよりいいと思う。 ・何らかの形で彫刻の清掃保護活動の体験を組む。 ・子どもがいなかったので、彫刻教育が学校で行われていることを知りませんでした。 ・現代アートは作者のインスピレーション、意図が理解できない作品もある。 ・彫刻に触れあうといいながら、登ってはいけません、触ってはいけませんと書いてあり、矛盾している。 ・宇部市には大学が3校ありますが、学部を作ってその中から彫刻家が生まれてもいいかなと思います。 ・中学生の英語スピーチコンテストの題材を彫刻の歴史等の関係あるものにする。英語と彫刻教育を連携させる。英語ガイドの育成。 ・学校教育の一環としてやらないと。希望者募集のイベント展開だと、結局ごく一部の人がしか学べないことになり、公平性もなくなる。			

N=802

Q12 その他、本市の「アートのまちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見やご感想があればご記入ください。（自由記述）

自由記入の内容
別紙

担当部署による総括

UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）については、回答者の9割以上に認知されており、本市の「アートのまちづくり」において、UBEビエンナーレが果たす役割は大きいと「思う」40.3%、「少し思う」33.1%と回答しています。

今後も発展させるためには、彫刻以外のアートにも力を入れたほうが良いと「思う」「少し思う」が62.7%を占め、分野としては、美術、音楽、アニメ・漫画、映画・映像、写真の順で挙がっています。

【UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）の開催形式について】は、現在の2年に1回の開催で良いと「思う」60.1%、「少し思う」11.0%で、開催サイクルについては、概ね、このままで良いと回答しています。また、変更したほうが良いと回答した人が望む開催サイクルは、「4年に1回」37.1%がもっとも多く、次いで「3年に1回」25.8%と続いています。

【開催場所について】は、ときわ公園以外でも開催したほうがよいと「思う」「少し思う」は22.7%でした。具体的な場所としては、「中心市街地」38.3%、「市内複数各所での同時開催」35.8%の順でした。

【野外彫刻の活用について】は、今後も作品設置を継続し、作品を増やしていくべきだと「思う」35.1%、「少し思う」21.1%で、合わせると半数を超える一方、作品設置については、「数を制限しながら増設する」49.0%、「これ以上作品を増やさない（現状維持）」31.0%、「設置作品を減らす」10.5%の対応が望ましいと回答しています。また、経年劣化による野外彫刻作品の修復については、「修復せず撤去し、別の作品と展示換えをする」40.9%がもっとも多く、次いで「計画的に修復する」31.8%となっています。

【彫刻教育について】は、「知らない」「あまり知らない」が6割以上を占めている一方、その効果については、「効果がある」「少し効果がある」で6割となっています。「彫刻教育」の今後のあり方については、子どもたちが本物のアートやアーティストにより多く触れ、自らが彫刻を制作する機会を拡大することが望ましいという意見が多く寄せられました。

今回実施したアンケートの結果や、いただいた市民の皆様の意見等を参考に、宇部市のアートのまちづくりについて引き続き検討していきたいと考えています。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
活用案	女	60	ビエンナーレに多くの経費をかけることには賛成出来ないが、歴史と今ある作品を有効に使って、アートのまちづくりをしていけばよい。工業団地内に彫刻があってもいいし、田んぼの中に田んぼアートとしてあってもいいと思う。県外市外からの集客を見込めるように、彫刻ツアーとかもいいかもしれない。 エヴァンゲリオンの庵野監督の出身地として、エヴァンゲリオン通りやエヴァンゲリオンミュージアムもいいのではないだろうか。
活用案	女	30	あちこちに彫刻があるのは面白いし、目印にもなるからとても良いと思うけれど、増設や維持にお金がかかるだろうし、費用対効果的にはどうなのかなと思う。あと木陰や公園とかにひっそりとあって存在に気づかない彫刻も多いので、どうせ置くなら目立つところにするとか、彫刻巡りのイベントをするとかで、目に触れる機会が多くなれば良いと思う。
活用案	女	60	彫刻の絵葉書の販売方法を考えて頂きたいと以前書きましたが、どうなったのでしょうか？最近はい買い求めることも止めたのですが。
活用案	男	50	子どもだけではなく、大人（年配者）の方にもアート等に触れ合える機会を作ってはどうか。
活用案	女	30	とても良い取組だと思います。作品に触れて体感できるというのも素晴らしいです。展示が野外というのも好きです。宇部はせっかく海があるので、海岸沿いで海と作品と一緒に楽しめる機会が増えると楽しいなと思います。田畑も多いので、もし余って困っている所があれば、そこを会場の1つにしても面白いです。（他県の芸術祭に10回程行ってますが、そういう所に設置している作品が、より面白くて印象に残っているため）

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
活用案	男	50	Q11追記：子ども（学生）主体の彫刻やアート学習に関するシンポジウムを開催して、その分野への就業、技能育成の道を開く。さらにすそ野を広げるためには、（１）市民の日常への溶け込みや（２）子どもの日々の話題、（３）社会人（会社員）の参画の仕組みがさらに必要。例：（１）自治体とのコラボ、日常空間への設置（非日常の組み合わせ）、（２）ゲームやコレクション、フィギアなどのコラボ、（３）スポンサーや展示オーナー、企業主催の彫刻展開催。
活用案	男	30	現在の「アートのみちづくり」について疑問に思うのは、ただ彫刻を色んなところに設置して、ただビエンナーレを行ってという感じでフワッとしていてまったく熱量を感じないところにあります。「アートとは何か」「宇部のアートとはどうあるべきか」という本質について、もっと本気で議論をして本質やテーマを作り、それに沿った作品の募集や設置、教育をすることで、他地域とは違うアートのまちづくりが実現できると思います。
活用案	男	40	実感していない市民が多いと思う。アニメ・エヴァンゲリオンなど、彫刻よりも身近なアートや芸術も複合的に取り入れて進めるといいと思う。
活用案	男	50	2年に一度のビエンナーレとして世界最長を誇っていたUBEビエンナーレの歴史を断ってしまい、魅力が半減してしまいました。たとえコロナ禍であっても、部門や形態を変えてでも、絶対に隔年で続けるべきで残念でなりません。野外彫刻は新市庁舎に合わせて中心市街地に集約させ、街そのものが野外彫刻美術館といえるまちづくりをしないとはいけません。「UBE彫刻のみち美術館」として宇部の財産を活かし、また郷土愛を育みましょう。
活用案	女	40	山口県内の作者を増やしたらいい。

Q12 その他、本市の「アートのまちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
活用案	男	30	宇部出身のエヴァンゲリオンの庵野秀明さんと共同で町おこしを希望。観光の目玉になるものを。
活用案	男	60	光の芸術を設ける。
活用案	男	60	精神世界を広げ豊かにすることは、様々な見方・考え方ができ、多様性の理解を進めるのに生かせそうな気がします。また、様々な作品は作者個人の性格や経験から生まれる精神世界の一つの表現ですが、例えばその彫刻を俳句や詩の題材にするとか、その彫刻をもとにした小説を書くとか、演奏会をするとか、他のアートも組み合わせると、個人の心の表現ではあっても、より多くの人が自分の彫刻として共感できる存在になるのではないだろうか。
活用案	女	40	市内点在の彫刻は宇部新川駅から市役所に集約させる。新庁舎前は子どもたちが遊び回れ、イベント開催できる広場にする。駅から市役所の通りに人の流れを作る。 空地にアスレチックや大型遊具を設置したり、有名な絵画展などを開催可能な施設を作るなど一新する必要あり。 また、せっかく庵野監督のご厚意があるにも関わらず、機会を活かせていない。市とJRで協力しエヴァンゲリオンのラッピング車両、内部展示のある車両など取り入れる。
活用案	男	80	私の永年の希望は、箱根でみられるような、公園の中に彫刻を設置した「美術館」の設置です。熱望します。
活用案	女	70	ときわ公園でエリアを決めた彫刻探しワーキングなど、学びながら楽しめる企画（ウォーキングを兼ねて）などしてはいいかが（はつらつポイント付きで）。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
活用案	女	70	銀天街や新天町のシャッター店舗にアートしてみたらどうだろうか？ 閉店のままシャッターが降りているアーケード街も、自由なアートが楽しめる空間にはどこか「夢」がありそうです。但し、イタズラや中傷的なものは作品と認めない。定期的に変わる「空間の利用アート」で人の動きにも変化が出るのでは？
活用案	男	70	第9回市民大学の環境アート学部でビエンナーレを勉強することが出来、見学もした。現物を見る事、アーティストと直接話することが出来た事でアートについて興味がわいた。環境問題の取り組みにもアートな発想が必要だと思う。子どもの教育は大事だ！宇部ビエンナーレに世界から全国から来てみたくなる仕組みづくりを考えよう。彫刻のメンテナンス、清掃に市民が参加できる仕組みづくりを考えたらよい。→子ども・老人を含めて。
活用案	男	70	私は二俣瀬在住ですが、なかなか、ときわ公園に行く機会がないのが残念です。ビエンナーレを見に行くことがないので、各地区ごとに機会を作っていただければ見に行けると思いますし、みなさん喜んで参加すると思います。 ※第何回かわかりませんが、セメントタンカーにて東京より彫刻をつんで宇部に帰ったことをかすかにおぼえています（タンカーの船員でした）。
教育	女	50	以前、学芸員さんに作品を一点ずつ説明していただく機会に恵まれました。それ以来、ビエンナーレが身近に感じられ開催を心待ちするようになりました。家族、友達を誘って、ひとりでも何度も訪れています。 子どもたちに魅力を理解してもらい、家族で、おじいちゃんおばあちゃんと、気軽に訪れられる場。ビエンナーレがあるから帰ろう!!と思える『場』に育ててほしいです。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
教育	男	40	特に彫刻教育について、学校だけでなく、小さい子から大人まで気軽に参加できるワークショップも開催されており、身近に楽しみ学べるしくみがあることは、創造する楽しさを感じられる、大変意義がある取り組みだと考えます。また、野外彫刻展が始まった原点を考えると、単純な彫刻教育のみならず、こうした取り組みが始まった社会背景を学び、宇部市の歴史や地域課題に関心を持てるきっかけにもつながられるとより良いと思います。
教育	男	50	小学校の時、彫刻に関心をもつこと。
教育	女	30	子どもの頃から彫刻を見て育っているので、今の子どもたちにも自然と彫刻を受け入れてもらえるような環境作りをしていけばよいのではないのでしょうか。
教育	男	30	デザイン思考やデザイン経営等、ビジネスでもデザインの有用性に取り組んでいる動きがあります。個人的な解釈ですが、「アート」は世の中に「問う」、「デザイン」は世の中を「解く」というように認識しており、「デザイン」に長けた人を育成することは非常に有用だと思います。
教育	女	50	彫刻教育というものがあるという事を知りませんでした。我が家にも3人子ども（成人）がいますが、その様な教育を受けた記憶がありません。その様な教育をするのなら、子どもたちには強要させないように実施することを希望します。 野外彫刻ですが、設置場所によっては、草ぼうぼうな場所にあつたりと、場所によって見栄えの差があると思います。設置場所の整備を希望します。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
教育	男	70	作品の錆等の経年劣化補修経費を削減する観点から、石材に変更して開催を増やすことは良い。美術館の鑑賞教育を通じて本物を見せる教育に時間と経費をかける。感性を養う教育を望む。
教育	女	30	学校で彫刻の歴史や文化、制作などをしてもらえるのが1番子どもたちの中で共通認識として知識や経験が入ると思います。
教育	男	70	現代アートを理解するには相当の許容範囲が必要。子どもたちの目には、あるいは理解には、限度があるように思える。船木の学びの森にある作品を見て子どもは「この人はなぜ手が無いの」と言う。
教育	女	70	私の子どもたちの頃は「彫刻教育」はなく、子ども自身「宇部は彫刻のみちなのに、宇部出身の彫刻家っているの？」と聞かれて困ったことがありました。できれば山口県内あるいは地元出身で、国内外で活躍しているアーティストとのふれあい（ワークショップなど）を子どもたちに作ってほしい。
教育	女	60	他所の街や建物、広場に彫刻があると「UBEビエンナーレ」で見たことがあるような親しみを感じ、じっくり観るようになった。子どもにとってもさまざまな彫刻が何気なく身近にあることや、アーティスト交流を通して、成長して美術に関心をもつようになると思う。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
教育	女	50	一部の子どもたちだけでなく、たくさんの子どもたちが彫刻教育やアートのまちづくりに参加できるといいなと思いました。
教育	男	70	ときわミュージアムで行われている子どもたちの彫刻の写生や絵画展は、子どもたちの動機づけに効果があると期待される。同じ人の作品が複数展示されているケースもあり、認知度・応募数の少なさが類推される。彫刻をまちづくりへ活用するには、多くの作品を展示する機会を増やし、家族の来園と意識の向上とともに、本人のやる気・意欲を引き出す。優れた本物のアートによる創造力の誘発を期待する。
教育	男	60	宇部市の財産なので、県内外にPRして入場者を増やし、子どもたちにももっと積極的に体験、製作する機会を増やすべき。街路樹の撤去が進んでいるので、できる範囲で道路にも設置する。学校に複数置いてもいいのでは？
教育	男	50	彫刻一点に血税を浪費するより、クラシック音楽や古典・伝統芸能などに子どもたちが接する事が出来る機会をもっと増やしてほしい。
教育	男	70	学校などで作品の展示を行い、各学校のシンボル化してみればいいと思う。
教育	女	60	歴史的に大変貴重な取り組みだと思います。今後も継続してほしいと思いますし、小中学校の教育にしっかりと取り入れていただくことを希望します。子どもたちには芸術が表現であることをしっかりと捉えてほしいです。表現の鑑賞や、表現すること自体の意味や価値を学んで宇部を巣立ってほしいし、宇部で生きていってほしいと思います。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
教育	男	50	トーテムポールとか彫刻の学びについてやっていくことが最適だと思います。
教育	女	40	子どもが乗ったり遊べたりする彫刻が増えると嬉しいです。
教育	男	70	美しい物を美しいと思う感性。発想の多様性を育む。
教育	女	70	出来れば各地区に展示すれば、愛着心や教育効果があるのではないのでしょうか。
教育	女	60	彫刻教育のみならず、子どもたちの情操教育の一環として、生涯教育の始まりに。現役を終えた高齢者で趣味のない人々の多さに驚愕したというある方の意見を耳にした事がありますが、人生の楽しみのひとつを子どもの頃に培う必要性を感じます。
教育	男	40	ときわ公園にあった木造の林檎の彫刻は返還されたのか、無くなってしまいました。子どもや大人も中に入って座ると景色が違って見えたり、癒しの彫刻でお気に入りでした。見るだけでなく触れる彫刻が増えると、子どもたちの心にも残ると思います。もう一度設置されると嬉しいです。
周知	女	70	UBEビエンナーレは、とてもいい企画だと思う。もう少し宣伝して大々的に行った方がいいと思う。
周知	男	60	宇部市＝アートになる様に頑張る事。
周知	男	50	素晴らしい無二の取り組みだと思っています。ただ、その価値を何故か市民はあまり気付いて（感じて）いないようにも感じています。もっと宣伝すべき、また、宣伝していることをアピールすべきだと考えます。すみません、今は具体的にどのようにすれば良いかは思いつきませんが。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
周知	男	60	38年振りに宇部市民となりました。2年毎のビエンナーレも外から見ると他の地域では行っていない素晴らしい美術展だと思います。一方、宇部市にはいろんなところに彫刻が設置されていることが当たり前のように思っている市民の皆さんには、あまり根付いていないように思います。小学校時代に宇部の彫刻の歴史を知ることも重要ですが、継続的に情宣していった年齢を問わず多くの市民に親しんでいただけるようにしていきたい。
周知	男	40	いまいち浸透していないので、もっと機会を増やすべき、アピールすべきと思います。
周知	女	50	個人的にビエンナーレは素晴らしいといつも思って見に行っています。宇部＝彫刻のみちをもっともっと、宣伝していくべきだと思います。全国規模で見に来てくれる展覧会にしてほしいです。
周知	男	60	もっと情報発信して世界中に知ってもらう必要があるように思う。
周知	男	70	これだけ一生懸命に活動・支援を行っているのに、全国的に、そして地元でさえも宇部でのこの活動の知名度は低いと思う。何をするにもまず宇部市民がその趣旨を理解・共感して、宇部全体のエネルギー力高揚の仕組み作りの一方策としてこれらの活動に取り組むことが大切。これが宇部の発展の基礎・基本となるのでは？
周知	男	70	作品を市内に設置する場合の考え方を公表して頂きたい。
周知	男	70	もう少し市民に分かりやすく、PRする方法を検討する。市をあげて彫刻祭りでもやったらいかがでしょうか。
周知	女	40	長年やっているのに市民に根付いてない。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
周知	男	70	歴史あるビエンナーレが宇部のまちづくりに活かされていない。一部の専門家だけにアピールするのではなく、魅力ある企画やイベントと組み合わせることで外からの一般観光客（特に海外から）を呼び込むことに努める必要がある。ウェブサイトの英語版を見たが、もう少し分かりやすくアピールする必要がある。YouTubeは映像だけで音声がない。ガイドや宿泊、市内交通手段、他の観光スポットなどの情報も掲載したら？
周知	男	60	作品展示があることは薄々理解できるが、彫刻そのものが分かりにくい。分かりにくいことが称賛されるのではなく、分かりやすい内容にすることがないと受け入れられない。
周知	男	60	もっと国内外に情報発信して、いろんな所から注目されるようになったらいい。
周知	男	30	アートに詳しくないので、気軽に交流できる機会を増やしてほしいです。
周知	男	60	市内外にもっと宣伝してほしい。野外彫刻が何点あるかや場所まで知っている市民は少ないと思う。
周知	女	60	「アートのまち」としてのPRを強化してほしい。一般的な認知度は低いと感じます。
見直し	男	40	私が子どものころから、宇部市は彫刻のみちということで、売り出していたように思います。あれから何十年も経ちました。効果はあったのでしょうか？彫刻を教育に入れて、効果があったのでしょうか？そもそも、効果判定をしているのでしょうか？全く効果がないものをこれ以上続けても意味がないので、路線変更した方がいいのではないかと思います。

Q12 その他、本市の「アートまちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
見直し	女	60	歩道も広々してるのに、誰も見ない石の固まりを、無駄な税金を使ってゴミを増やさないでほしい。
見直し	男	70	ビエンナーレが宇部の文化として大きな役割を果たしたことは認めるが、一般論でいえば見るだけである。ちょっと一休みしてもいいかもしれない。個人的にはアートではないが、史跡の標識、掲示板などの充実を望む。彫刻よりも史跡の方が市民の交流・移動が活発になると思います。
見直し	男	60	「アートまちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」についての宇部市の取り組みを知りませんでした。ただ、ときわ公園で何かやってるくらいで、出かけたこともありません。他の行事でときわ公園に出かけたときに、彫刻を見るくらいでした。美術に特に興味のない人間は、そんなに思い入れがないのではありませんか。
見直し	男	50	・市街地にある彫刻を整理してほしい。暗く、意図の分からない彫刻が目立つ。街の景観は皆のものであり、芸術家のキャンバスではない。老朽化した彫刻、あまりにも評判の悪い彫刻は撤去すべき。 ・ビエンナーレ誕生の経緯は理解するにしても、この方面に予算を割き過ぎ。現状は芸術＝彫刻も同然で、他の文化に目が向いていない。 ・彫刻に限定した教育ではなく、身の回りのものを広く観察する教育が必要である。
見直し	女	50	彫刻は一般の人には分かりにくい感じもある。
見直し	女	40	古い彫刻作品は、危険なので、撤去した方が良い。
見直し	男	40	現代アートを否定はしませんが、奇抜な表現をしたら何でもかんでもアートみたいな風潮を多少感じます。端的に言うと底の浅さというか技術の深みを感じないので、現代アートを並べるだけでは街の取り組みとしても深さを感じられないのではないのでしょうか。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
見直し	女	40	あまりに彫刻が増えすぎでは？宇部市には他に活性化させるものがあるはず。清掃もボランティアを募ってやるくらいなら、もう彫刻を増やさなくていいと思う。全市民からして、そんなに彫刻が広がってるとも大切だともあまり思えない。
見直し	男	40	私が子どもの頃から「彫刻のみち」というアピールで、あちこちに彫刻作品が展示されていました。あれから、40年近く経ちました。 何かしらの効果があったとは思えません。そもそも、彫刻作品を町中に展示していても、見る人はほとんどいないです。ときわ公園に展示されている作品ですら、ほとんど注目されていません。「彫刻」というものを始めてしまったから、やめられないだけなんじゃないのでしょうか？
見直し	男	30	特に市の発展に寄与しているとは思わない。
見直し	女	30	無駄です。毎年増やして、置き場がなくなったら、どこか街中に移動。増やすのも移動するのもお金ばかりかかって、誰がどのように楽しんでいるのか、調査してから増やしてほしい。というか増やす必要もない。朽ちたら捨ててください。
見直し	男	70	アートや花も環境に大事と思うが、経済的にも雰囲気的にも、もっと活性化対策を推し進めて明るくにぎやかな中心的街づくりが必要と思う。
見直し	男	70	開催費用・維持費等を知らないため、客観的なアンケート回答です。
見直し	男	60	宇部市にアートは馴染まない。炭鉱から始まり、化学コンビナートへと発展してきた労働者の街ではないか。アートや芸術という土壌がそもそもない。芸術に関する大学があるわけでもない。芸術に関連する産業があるわけでもない。アートに関係する大人たちがいないのに、彫刻教育って意味があるとは思えない。早速止めるべきである。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
見直し	女	70	正直、「彫刻、彫刻」とさわぎ立てる意味が分かりません。すみません、率直な意見です。ほとんどが抽象的、具現化され、乗り物なのか彫刻なのか分からない。ビエンナーレも本当に市民が待っているものなのかどうか、私には疑問です。代替案をと言われても分かりませんが、そして、この期に及んでこんな意見も無茶ですが、「彫刻」から脱皮しても良いのではないのでしょうか。
見直し	女	50	ビエンナーレは楽しみにはしていますが、もしも多額なお金がかかっているなら縮小してもいいのではないかと思います。彫刻教育よりも宇部空襲とか宇部の歴史とか、もっと他の教育の方がよさそう。
見直し	女	40	市を代表する彫刻を3点から5点決め、それ以外は修復せず新たなものに変えればいい。これ以上増やしても設置場所がないし、公園も彫刻に支配されボール遊びがしづらいと聞く。
見直し	女	60	これ以上設置しなくていいと思う。町の中で空き家、大きなごみが。通りの花壇は草だらけ。何千万の無駄なお金。もっと人が来る町であってほしい。銀天街？宇部の町は何にもないですね。
見直し	女	60	芸術的センスがないので、抽象的な彫刻作品は見てもそのどこがよいのかわからない。他の市では費用対効果からなのか、ビエンナーレ取り止めもあると聞く。宇部でも運営や経費について市民が分かるようなシステムがほしい。議会だよりで一度見たような気がするが、広報誌での公表を検討してほしい。
見直し	男	60	ビエンナーレはコストパフォーマンスが良くないので、中止すべきだと思います。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
見直し	男	70	ときわ公園を核として実施し、地区の要望にこたえ、展示増、展示控えも検討する必要があると思う。
見直し	男	70	彫刻は理解しづらいし興味を持ちにくい。おもしろくなる工夫が必要。
見直し	女	70	彫刻のみちとなっていますが、他県からの観光客の人達に彫刻などの意味、説明も宇部市民は私も含めて出来ない人が多いと思います。2年に1度予算を子どもたちの為とかに使うのも良いと思います。これ以上増やすのはいいのではないかと思います。
見直し	男	70	費用対効果は如何だろうか、既存の彫刻等、設置用途の環境整備も必要では...
見直し	男	40	アートのまちづくりは良い取り組みだと思いますが、彫刻に拘る必要はなく、4年に1回程度芸術の祭典のようなものを行えばいいと思います。市の予算もあるので、継続的に保守が必要な彫刻は数を減らしていいと思います。
賛同	男	60	ためになる。
賛同	女	40	彫刻教育、素晴らしいですね。
賛同	女	50	子どもの頃からときわ公園や市内に彫刻があるのが当たり前だったので、これからもずっと続けてほしい。街中だけでなく、こんなところに！ってような場所にも設置してもらいたい。
賛同	女	60	芸術に触れるのはいい機会と思うので、このまま進めてほしい。
賛同	男	80	「宇部なら彫刻」の意気込みで彫刻一点集中主義で頑張ってもらいたい。広く・浅くでなく。
賛同	女	50	最近、いろんな公園に作品が移転されてるのを知りました。良い試みだと思います。
賛同	女	70	県外にPRして、直島のようにお客さんを呼び込みたいです。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
賛同	男	70	これは、宇部市の誇れることであり、是非今後とも継続してもらいたいと思います。また、宇部市民として、大いに応援していきたいと思います。これは他に見せびらかすものでなく、宇部市民の心の豊かさを示す一つの秤でもあります。
賛同	男	40	身近な街中にアートがあるのは素晴らしい。
賛同	男	50	制作する過程や方法、考えられない力学的な造形が考えさせられる。 ・蟻の城：長年、なんで錆びて朽ち果てないのだろう？素材！溶接のすばらしさ？ ・ロッキングドール：ステンレスであの造形！昔寝癖がかわいそうと変形させられても、頑張っている。 ・seed増殖:ステンレスであの形であの磨きが最高！ ・呼吸するときー傾:力学的に素晴らしい！ ステンレス・石でどうやったらあんなことができる？って考えてると楽しい！
賛同	男	70	ときわ公園などに設置してある彫刻を見ると心が和みます。彫刻の維持管理が大変でしょうが、予算の許す範囲で設置して頂きたいと思います。
賛同	男	70	私は、毎日(悪天候を除き)常盤湖周遊道路を散歩しています。ビエンナーレの作品が設置される時は、彫刻の出来いく過程を見えています。時には日本人の作者さんと話をし、意図や設置の難しさを聞いて楽しんでいます。
賛同	男	50	宇部市の誇れるイベントだと思うので、継続は必須だと思います。
賛同	男	70	あまりいろいろなものに手を出さず、彫刻に特化してください。
賛同	女	40	アートにふれる環境が多くて宇部市は恵まれていると思います。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
賛同	女	50	伝統のある取組みなので、続けてほしいと思っています。アートは世界中とつながっていける大切なツールだと思います。
賛同	女	50	アートにふれる機会があることはとてもいいと思います。まちにアートがあると自然と目にふれる、ふと足をとめて作品を見ることもあります。これからもたくさんのアートが見れるといいなあと思います。
賛同	男	60	今後も引き続き開催するべきである。
賛同	男	70	芸術鑑賞の機会が増えることはたいへん良いことだと思います。
展示	女	60	せっかくの作品を草や生い茂った木で埋もれさせないでほしい。
展示	男	70	宇部の野外彫刻は宇部市民の宝であり、誇りであると思う。しかし残念ながら、各彫刻がその彫刻にふさわしい環境と待遇を得ているか疑問です。各彫刻が最も美しく見えるような場所、展示方法の検討が必要です。十数年前、桜満開の季節、ときわ湖水ホールミュージアムで桜をバックに萩原守衛の「女」を観た時の感動が忘れられない。彫刻は置かれた環境が重要だと思います。それは、作者に対する思いやりでもあり、礼儀だと思う。
展示	女	50	真締川沿いに住んでいますが、住民にも設置する彫刻を選べる機会があると身近な彫刻に愛着が湧くと思います。宇部工業高校前に噴水ができる予定だと思います。できた折には、ときわ公園に設置してあるような水辺に合う彫刻が設置されるといいなと思います。 住民として彫刻は、あるのが当たり前の感覚になっていますが、彫刻があることで公園の一部が立入禁止になったりする危険な彫刻（角あり）は、設置場所を考えてほしいと思います。

Q12 その他、本市の「アートのみちづくり」「UBEビエンナーレ」「彫刻教育」について、ご意見や感想があればご記入ください。（自由記述）

分類	性別	年代	内容
展示	男	70	彫刻の設置場所の多くは中心地です。厚南、黒石地区は見かけません。場所、管理で問題があるかもしれませんが、ふれあいセンター等に設置し、身近なものにするようにしてもらいたい。
展示	女	60	多額の費用をかけてビエンナーレを続けていくのであれば、少しやり方を変えてもいいのではないのでしょうか。審査のためにだけときわ公園に設置するのではなく、学校の敷地や企業の敷地にあってもいいのではないのでしょうか。神原公園のプレイパークにあってもいいし、日頃から目にすることがアートのまちになるのではないのでしょうか。
展示	男	60	わかりやすい作品を配置してほしい。
展示	男	70	ときわ公園内に設置されている彫刻を、さらに市民が彫刻への親しみが持てるように、もっと地域に移設してもらいたい。
展示	女	60	古いものは撤去し、その時代時代にあった物に代えて興味を持てもらう。
展示	女	60	彫刻のサイズをある程度決めては？あまり大きすぎるのもいかがなものかと…。
展示	男	70	作品は彫刻作家に返さず、小中学校で勉強する作品にしたらと思う。
展示	男	80	・作品の簡単な主旨が書いてあると納得しやすい。 ・何年度作製分とかの標示があるとよい。
その他	男	60	アートには無関心。
その他	女	60	申し訳ないのですが、私自身が、彫刻にあまり興味がありません。宇部が彫刻で有名になるのは嬉しい事ですが、よく理解出来ません。